

# 広島市商・造船工業学校慰霊碑

〔地図番号5〕

（広島市商・・・広島市立商業学校。現在の広島市立広島商業高等学校）

## 建立年月日

1963（昭和38）年8月6日

## 建立者

広島市商同窓会、造船工業学校遺族

## 設計者



## 形状

大きなみかげ石の自然石に碑文が刻まれている。（高さ2m、幅3.5m）

## 建立の目的

全滅した生徒・職員の冥福を祈り、このような悲劇を繰り返さないことを誓うため。

## 碑文（碑陰）

「青天の霹靂とはまさにこのことであつた 昭和二十年八月六日午前八時十五分 われらの郷土広島はただ一発の原子爆弾によってこの世ながらの地獄を現出し 一瞬にして壊滅した・・・」（冒頭部分）

## 特記事項

### 1 学校の変遷

広島市立商業学校は、戦争の末期に国策により市立造船工業学校に転換させられました。戦後、造船工業学校は廃校となり、広島市立第一商業学校を経て、1948（昭和23）年、広島市立商業高等学校になりました。

### 2 市立造船工業学校の犠牲者

被爆当時、爆心地から500m、ざいもくちょうせいがんじ材木町誓願寺付近の建物疎開作業に出動していた1年生195人、職員5人は、作業中に気分が悪くなり病院に行った1人を除き、全員が亡くなりました。爆心地に近く、遺骨もほとんど不明、わずかに弁当箱や焼け残った衣類が落ちただけでした。

原爆による犠牲者は、その他の動員先や登校中の者を含め、270人にのぼりました。